

令和6年度春期 災害対策専門研修 カリキュラム マネジメントコース：ベーシック

主担当：主任研究員 林田 怜菜

時間\日付		6月5日(水)	6月6日(木)	6月7日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	地震・津波への備えと対応 清野 純史 人と防災未来センター客員研究員 (京都大学名誉教授) ・地震・津波の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解する。	行政における災害対応業務の実践 後藤 武志 人と防災未来センターDisaster Manager (飯田市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 課長(元飯田市危機管理部危機管理課 課長)) ・大規模災害における行政対応の経験や、地域に向けての防災・減災活動の経験について学び、災害対応業務の実際について学ぶ。
11時00分～12時15分	2限	11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 オリエンテーション 林田 怜菜 人と防災未来センター主任研究員	災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西国際大学客員教授) ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 関西大学社会安全学部教授 ・災害関連法制の全体像を概観し、災害対策基本法の構造を知る。
		休 憩	休 憩	休 憩
13時15分～14時30分	3限	風水害への備えと対応 天野 智裕 神戸地方気象台 防災気象官 ・風水害の発生過程とその被害を理解し、自治体の具体的対応(警報・避難等)を学ぶ。	災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター客員研究員 (名古屋大学名誉教授 あいち・なごや強靱化共創センター長) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析を通して、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える。	被災者対応総論 重川 希志依 常葉大学名誉教授 ・災害時に行政が対応すべき被災者支援業務の内容とその流れについて理解する。
14時45分～16時00分	4限	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹 ・災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて学ぶ。	ゲーミング手法を活用した防災・減災 矢守 克也 人と防災未来センター客員研究員 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を学ぶ。	ふりかえりワーク 林田 怜菜 人と防災未来センター主任研究員 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ。
16時15分～17時30分	5限	災害対応+危機管理総論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究科教授 ・災害対応・危機管理の基本的な考え方について概要を学ぶ。		16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和6年度春期 災害対策専門研修 カリキュラム

マネジメントコース:エキスパートA

主担当:研究員 山口 章子

時間\日付		6月11日(火)	6月12日(水)	6月13日(木)	6月14日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	災害対応各論(災害関連死) 奥村 与志弘 人と防災未来センター リサーチフェロー (関西大学社会安全学部 教授) ・災害関連死は死亡原因が多岐に及ぶことに加え、同じ死亡原因でも死亡に至る経緯は持病や介護の有無、生活環境などによって複雑である。本講義では、災害関連死の特徴に加え、事前対策と事後対応のポイントを学ぶ。	健康医療支援活動 高鳥毛 敏雄 人と防災未来センター上級研究員 (関西大学社会安全学部 社会安全研究科 特別契約教授) ・災害発生時、救命救急を含む地域医療、地域保健、地域ケアなどの諸活動が被災地で展開されるが、その現状と課題について学ぶ	災害対応各論(支援物資物流のポイント) 宇田川 真之 人と防災未来センター リサーチフェロー (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 特別研究員) ・過去の災害において避難所へ必要な物資が円滑に届かない事態が繰り返されてきた理由と、そのような事態を防ぐためのポイントについて学ぶ
11時00分～12時15分	2限	11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 オリエンテーション 山口 章子 人と防災未来センター研究員	災害対応各論(災害廃棄物の対応) 平山 修久 人と防災未来センター リサーチフェロー (名古屋大学減災連携研究センター准教授) ・自然災害時には大量の災害廃棄物が生じる。災害後の復旧・復興期の市民が前向きになるためには市街地からのごみの排出が必要である。本講義では、災害廃棄物対応について学び、部局間連携について考える。	災害対応ワークショップ 林田 怜菜 人と防災未来センター 主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける 【11:00～12:00】	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める
		昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
13時15分～14時30分	3限	災害過程総論 坂本 誠人 人と防災未来センター 特別研究調査員 (元 兵庫県 防災企画局長) ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見通しを持った災害対応業務について学ぶ	災害対応各論(TKBの重要性について) 水谷 嘉浩 Jパックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー ・能登半島地震での対応を踏まえた避難所におけるTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の重要性について学ぶ	災害対応ワークショップ 林田 怜菜 人と防災未来センター 主任研究員 【13:00～14:30】	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 中林 啓修 人と防災未来センター リサーチフェロー (日本大学危機管理学部 准教授) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める
14時45分～16時00分	4限	災害対応概論(初動期・応急期) 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (元 長野県 危機管理部 危機管理防災課 火山防災幹) ・実災害をケーススタディとして、初動期・応急期における目標管理型の災害対応の重要性や、関係機関との連携、支援体制構築の必要性を学ぶ	危機対応時の組織論(情報システム) 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システムの活用方を学ぶ	災害対応各論(防災と福祉の連携) 松川 杏寧 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時における要配慮者の被害を減らすため、防災と福祉の関係者が連携した形で当事者に関わることの重要性を先進的な取り組みを交えながら学ぶ。	全体振りかえりワーク 山口 章子 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	災害対応概論(復旧期・復興期) 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響などについて学ぶ	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 木戸 崇之 人と防災未来センター リサーチフェロー (株式会社エー・ビー・シー リブラ ビジネス開発部長) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	災害対応各論(能登半島地震での対応) 岸江 竜彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (三重県防災対策部災害即応・連携課 課長補佐兼班長) ・能登半島地震において、総括支援県として輪島市に入った三重県の取り組みから得られた知見について学ぶ	16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

時間\日付		6月18日(火)	6月19日(水)	6月20日(木)	6月21日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	図上訓練設計 藤原 宏之 人と防災未来センター リサーチフェロー (伊勢市危機管理部危機管理課 主幹) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的事例を交えつつ学ぶ。	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト 防災部長 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する。	災害時の健康危機管理 神原 咲子 神戸市看護大学看護学部 基盤看護学領域 災害看護・国際看護学分野 教授、高知県立大学大学院 看護学研究科 特任教授 ・被災住民の健康危機管理に対する行政の支援について理解を深める。
	2限	11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 オリエンテーション 山崎 真梨子 人と防災未来センター研究員	広域避難と生活再建 越山 健治 人と防災未来センター 上級研究員 (関西大学社会安全学部 教授) ・被災者の仮住まいや広域避難、生活再建の実態から、応急対応・復旧期の行政対応の重要性とその具体策を学ぶ		災害時の情報発信・広報 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (元読売新聞編集委員) ・災害対応を円滑に行うために、マス・メディアを能動的に活用して、効果的に情報発信や広報を行う方法を考える。
		休 憩	休 憩	休 憩	休 憩
13時15分～14時30分	3限	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センター リサーチフェロー (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ。	災害復興と被災者支援のための法制度 岡本 正 人と防災未来センター 特別研究調査員 (銀座パートナーズ法律事務所 代表弁護士・博士(法学)・岩手大学地域防災研究センター 客員教授・北海道大学公共政策学研究センター 上席研究員) ・災害時の被災者のリーガルニーズを把握し、災害復興や生活再建に役立つ様々な法制度を学ぶ。	災害時要配慮者への対応 田村 圭子 人と防災未来センター 上級研究員 (新潟大学危機管理本部危機管理センター 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ。	危機管理法制 武田 文男 人と防災未来センター 上級研究員 (政策研究大学院大学 客員教授・防災政策研究会代表、福島学院大学副学長・マネジメント学部長・教授) ・災害対応時における中央・地方の行政システム(意思決定・調整メカニズム)を規定する法令を学ぶ。
	4限	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ。	気候変動による豪雨災害への備え 中北 英一 人と防災未来センター 上級研究員 (京都大学副理事、防災研究所教授) ・気候変動の影響が出だしている中、今後豪雨や水災害がどうシビアになるか、それに対して治水行政はどう適応してゆくべきかを学ぶ。	避難の実態と課題 竹之内 健介 香川大学創造工学部 准教授 ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ。	全体振り返りワーク 山崎 真梨子 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える。
16時15分～17時30分	5限	地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センター DisasterManager (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 客員研究員、元芦屋市市長室室長、前熊本県益城町危機管理監) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する。	業務継続マネジメント論 渡辺 研司 人と防災未来センター 上級研究員 (名古屋工業大学大学院社会工学専攻 教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する。	防災DXの対応 植原 健太郎 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(防災デジタル・物資支援担当)付 参事官補佐 ・防災DXの取り組みについて学ぶ。	16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
	～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

令和6年度春期 災害対策専門研修
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当：研究員 山口 章子

6月25日(火)	6月26日(水)
(9:30～10:05 センター展示見学：希望者のみ)	9:30～10:30 60分 <u>行政対応特論②～令和6年能登半島地震災害マネジメント支援に 関して～</u> 池田 忠義 社会福祉法人石川県社会福祉事業団理事兼事務局長兼軽費老人ホーム石川県百々鶴荘施設長 (前石川県自治研修センター所長) ・石川県の現地リエゾンの責任者として、能登町役場で2カ月 にわたって災害マネジメント支援に取り組んだ知見から学ぶ
10:25～10:40 開講式 10:40～11:00 <u>オリエンテーション</u> 人と防災未来センター 研究員 山口 章子	
11:00～12:30 90分 <u>災害時のメディア対応～災害報道を知る～</u> 山崎 登 人と防災未来センター 上級研究員 (国士舘大学 名誉教授) ・災害時のメディア対応を円滑に進めるために、災害報道の 成り立ちや目的を理解し、メディアやその他の手段を活用 して被災者と自治体業務を好転させる情報の受発信方法を 学ぶ。	10:45～12:15 90分 <u>危機対応組織論</u> 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 ・危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする 能力について理解する。
休憩	
13:30～15:00 90分 <u>災害対応特論</u> 臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長 ・自治体災害対応における情報処理技術の可能性と課題に ついて、近年の事例・動向を踏まえて理解する	13:15～16:00 165分 (途中休憩あり) <u>災害対応検討ワークショップ</u> 坂本 誠人 人と防災未来センター 特別研究調査員 (元兵庫県防災企画局長) ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。
15:15～15:40 25分 自己紹介タイム	
15:40～17:30 110分(途中休憩を含む) <u>行政対応特論①</u> 齋藤 富雄 関西国際大学名誉教授、兵庫県立大学客員教授 (元兵庫県防災監) ・県における大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の 対応や課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式 で行う。	
17:30～17:45 レポートタイム	16:05～16:20 レポートタイム 16:20～16:40 閉講式

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和6年度秋期 災害対策専門研修 カリキュラム

マネジメントコース:エキスパートA

主担当:研究員 池端 祐一朗

時間\日付		10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)	10月11日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	災害対応概論(復旧期・復興期) 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響などについて学ぶ	災害対応各論(支援物資物流のポイント) 宇田川 真之 人と防災未来センター リサーチフェロー (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 特別研究員) ・過去の災害において避難所へ必要な物資が円滑に届かない事態が繰り返されてきた理由と、そのような事態を防ぐためのポイントについて学ぶ	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 中林 啓修 人と防災未来センター リサーチフェロー (日本大学危機管理学部 准教授) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める 【オンライン講義】
	2限	11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 オリエンテーション 池端 祐一朗 人と防災未来センター研究員	災害対応各論(災害関連死) 奥村 与志弘 人と防災未来センター リサーチフェロー (関西大学社会安全学部 教授) ・災害関連死は死亡原因が多岐に及ぶことに加え、同じ死亡原因でも死亡に至る経緯は持病や介護の有無、生活環境などによって複雑である。本講義では、災害関連死の特徴に加え、事前対策と事後対応のポイントを学ぶ。	健康医療支援活動 高鳥毛 敏雄 人と防災未来センター上級研究員 (関西大学社会安全学部 社会安全研究科 特別契約教授) ・災害発生時、救命救急を含む地域医療、地域保健、地域ケアなどの諸活動が被災地で展開されるが、その現状と課題について学ぶ	災害対応各論(TKBの重要性について) 水谷 嘉浩 Jパックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー ・能登半島地震での対応を踏まえた避難所におけるTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の重要性について学ぶ
		昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
13時15分～14時30分	3限	災害過程総論 高見 隆 人と防災未来センター 副センター長(総括担当)兼研究部長 ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見通しを持った災害対応業務について学ぶ	危機対応時の組織論(情報システム) 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システムの活用方を学ぶ	災害対応各論(防災と福祉の連携) 松川 杏寧 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時における要配慮者の被害を減らすため、防災と福祉の関係者が連携した形で当事者に関わることの重要性を先進的な取り組みを交えながら学ぶ。	災害対応各論(災害廃棄物の対応) 平山 修久 人と防災未来センター リサーチフェロー (名古屋大学減災連携研究センター准教授) ・自然災害時には大量の災害廃棄物が生じる。災害後の復旧・復興期の市民が前向きになるためには市街地からのごみの排出が必要である。本講義では、災害廃棄物対応について学び、部局間連携について考える。
	4限	災害対応概論(初動期・応急期) 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (元 長野県 危機管理部 危機管理防災課 火山防災幹) ・実災害をケーススタディとして、初動期・応急期における目標管理型の災害対応の重要性や、関係機関との連携、支援体制構築の必要性を学ぶ	災害対応ワークショップ 南 貴久 人と防災未来センター 研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	全体振りがえりワーク 池端 祐一朗 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 木戸 崇之 人と防災未来センター リサーチフェロー (株式会社エー・ビー・シー リブラ ビジネス開発部長) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ		災害対応各論(能登半島地震での対応) 岸江 竜彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (三重県防災対策部災害即応・連携課 課長補佐兼班長) ・能登半島地震において、総括支援県として輪島市に入った三重県の取り組みから得られた知見について学ぶ	16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和6年度秋期 災害対策専門研修 カリキュラム

マネジメントコース：エキスパートB

主担当：研究員 山崎 真梨子

時間\日付		10月15日(火)	10月16日(水)	10月17日(木)	10月18日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式 11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JV0AD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ。	避難の実態と課題 竹之内 健介 香川大学創造工学部 准教授 ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ。	業務継続マネジメント論 渡辺 研司 人と防災未来センター 上級研究員 (名古屋工業大学大学院社会工学専攻 教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する。
11時00分～12時15分	2限	11:30～12:15 オリエンテーション 林田 怜菜 人と防災未来センター研究員	広域避難と生活再建 越山 健治 人と防災未来センター 上級研究員 (関西大学社会安全学部 教授) ・被災者の仮住まいや広域避難、生活再建の実態から、応急対応・復旧期の行政対応の重要性とその具体策を学ぶ	図上訓練設計 藤原 宏之 人と防災未来センター リサーチフェロー (伊勢市危機管理部危機管理課 主幹) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的な事例を交えつつ学ぶ。	気候変動による豪雨災害への備え 中北 英一 人と防災未来センター 上級研究員 (京都大学副理事、防災研究所教授) ・気候変動の影響が出だしている中、今後豪雨や水災害がどうシビアになるか、それに対して治水行政はどう適応してゆくべきかを学ぶ。 (注)最終日のみ2限目講義時間 10:55-12:10
		休 憩	休 憩	休 憩	休 憩
13時15分～14時30分	3限	災害時の健康危機管理 原田 奈穂子 岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 ・被災住民の健康危機管理に対する行政の支援について理解を深める。	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センター リサーチフェロー (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ。	災害時要配慮者への対応 田村 圭子 人と防災未来センター 上級研究員 (新潟大学危機管理本部危機管理センター 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ。	危機管理法制 武田 文男 人と防災未来センター 上級研究員 (政策研究大学院大学 客員教授・防災政策研究会代表、福島学院大学副学長・マネジメント学部長・教授) ・災害対応時における中央・地方の行政システム（意思決定・調整メカニズム）を規定する法令を学ぶ。 (注)最終日のみ3限目講義時間 12:55-14:10
14時45分～16時00分	4限	防災DXの対応 植原 健太郎 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(防災デジタル・物資支援担当)付 参事官補佐 ・防災DXの取り組みについて学ぶ。	災害時の情報発信・広報 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (元読売新聞編集委員) ・災害対応を円滑に行うために、マス・メディアを能動的に活用して、効果的に情報発信や広報を行う方法を考える。	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト 防災部長 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する。	全体振りかえりワーク 山崎 真梨子 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える。 (注)最終日のみ4限目講義時間 14:20-15:35
16時15分～17時30分	5限	地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センター DisasterManager (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 客員研究員、元芦屋市市長室室長、前熊本県益城町危機管理監) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する。	災害復興と被災者支援のための法制度 岡本 正 人と防災未来センター 特別研究調査員 (銀座パートナーズ法律事務所 代表弁護士・博士(法学)・岩手大学地域防災研究センター 客員教授・北海道大学公共政策学研究センター 上席研究員) ・災害時の被災者のリーガルニーズを把握し、災害復興や生活再建に役立つ様々な法制度を学ぶ。		15:40～16:00 レポートタイム 16:00～16:20 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。